

自治協議会等ヒアリング結果（南区）

1. 自治協議会について「制度ができてよかったこと」、「運営していて困っていること」はどんなことですか。		
①制度ができてよかったこと		
●校区として一体性が高まった（１０校区）	●校区の情報共有、透明性が進んだ（４校区）	●校区に入る補助金が増えた（２校区）
●地域の自律経営のきっかけとなった（１校区）	●校区内での同じような事業の整理・統合ができた（事業の効率的実施）（１校区）	
●新しい事業に取り組むことが出来た（１校区）	●コミュニティ活動が活性化してきた（１校区）	
②運営していて困っていること		
●自治協議会の意義や役割について理解が不十分（連合会との違い、役割分担がわからない等）（５校区）		
●自治協議会ができてでも以前のまま何も変わらない（３校区）	●事業への参加が限定されている。参加者に広がりがない（３校区）	
●部会型についてよく分からない（並列型からどう移行するのか、どう違ってくるのか等）（３校区）		
●町内会長と各種団体会長との役職重複を減らし、一人当たりの負担を減らしたい（２校区）		
●自治協議会事務局を事務局長一人で切り盛りしている。自治協議会に役割集中させるには限界がある（１校区）		
●町内会長が各種団体会長より上との意識がある（世代交代が必要）（１校区）		
●町内会長が各種団体の事業に参加しない（１校区）	●自治協議会が一部の役員で運営しているように誤解されている（１校区）	
2. 活力あるまちづくり支援事業補助金について、ご意見をお聞かせください。使い方を自分たちで決められる補助金制度ができたことによって、新たに始められた事業はありますか。		
①補助金について意見		
●補助金は多い方がよい（最低でも現状維持を望むなど）（８校区）		
●補助金上限額の算出方法が不明確、算出方法を変えて欲しい（校区人口を十分反映していない、上限額が低すぎる、事業毎の補助金がよい等）（５校区）		
●食料費の使用制限（１５００円以内）はあった方がよい（無制限に使うと歯止めがきかない）（４校区）		
●バラバラに出ている補助金を整理、統合して欲しい（人尊、社協、防災や防犯等現物支給を含めて）（４校区）		
●将来的に補助金が減額されるのではないかと不安がある（今後の補助金制度はどうなるのか考えを示して欲しい等）（４校区）		
●補助金上限額は現状が丁度良い（増額しても事業をこなせない）（４校区）		
●食料費は１回当たりの限度設定ではなく総額の一定割合で制限して欲しい（３校区）		
●行政による補助金の実績確認は不要ではないか（行政からの会計チェックが厳しすぎる）（３校区）		
●予算規模は膨らんだが事業の新規性や工夫は見られない（懇親会が増えたなど）（２校区）		
●補助金をはじめにあったのでお金を分けようという考えしかない（団体や連合会の既得権意識が強い等）（２校区）		
●食料費上限廃止や役員手当への補助金活用など校区裁量を広げて欲しい（補助金の使用制限の緩和）（２校区）		
●事務費限度枠（総額の３０％）を廃止して欲しい（１校区）		
●予算総額が膨らむにつれて、補助対象外事業が増加し自主財源負担額が重くなっている（１校区）		
●必須事業は校区の実状にあっていない。必須事業を廃止して校区裁量に任せて欲しい（１校区）		
●会計マニュアルを作成して欲しい（１校区）	●補助金交付までの時間を短縮して欲しい（年度初めに補助金を交付して欲しい）（１校区）	
●補助金交付により町内会費の減額、廃止の圧力が高まった（１校区）		
●会計担当者に会計制度が分かり難い（会計担当は会計の素人、会計が毎年交代する、補助金制度が頻繁に変更になる）（１校区）		
②新たに始められた事業（事業追加拡充を含む）		
見守り、パトカーなどによる安全安心活動（８校区）、自主防災活動（４校区）、夏祭り、運動会、敬老会等の校区の大型行事（１校区）、シニア部会（高齢者）・新規交流事業（フェスティバル、どんと焼き等）（１校区）		
3. 公民館の地域支援について、どのようなことを期待していますか。		
●地域活動の担い手の発掘育成（人材発掘、育成機能）（６校区）	●公民館は自治協議会の側面支援や不足分を補完する役割を担うべき（３校区）	
●公民館の役割や今後の方向性が見えてこない（コミュニティセンターとしての位置づけ、自治協議会との関わり方が分からない等）（４校区）		
●より良い条件での自治協議会室の提供（３校区）	●地域と公民館との事業が重複している（地域事業と公民館事業との調整が必要）（２校区）	
●公民館は地域活動に積極的に関わって欲しい（１校区）	●ジュニアリーダー（公民館）と育みネット（こども会）との関係に疑問（１校区）	
●災害時における行政と公民館との連携（１校区）	●団体毎の支援ではなく全体への支援となって良かった（１校区）	
4. その他、コミュニティ施策全体について		
●区レベルの団体と校区団体の縦割り関係を整理して欲しい（区レベル団体の整理、上部団体への上納金廃止など）（７校区）		
●町世話人廃止について地域への説明が不十分、行政のスタンスは何も変わらない（７校区）		
●行政の考えを画一的に押しつけるのではなく、校区の特性を考えて欲しい（３校区）		
●地域と行政の役割分担が出来ていない（３校区）	●行政内部の組織間の連携が悪い（２校区）	
●地域施策について事前に地域の意見を十分聞くべき（２校区）	●コミュニティ施策の方向性、あるべき姿をはっきり示して欲しい（２校区）	
●自治協議会制度の中での自治会・町内会の役割が整理されていない（２校区）		
●自治会、町内会加入者が減少していく恐れがあるので、転入者に自治会加入を勧めるなど行政からサポートして欲しい（１校区）		
●他校区の自治協議会運営状況や事業内容など情報提供を希望する（１校区）		
●こども団体地域指導員の廃止は間違っている（１校区）	●見守りや安全安心活動について学校の対応が見えてこない（１校区）	
●老人クラブの位置づけが分かり難い。加入率の低下や校区連からの脱退が増えている（１校区）		
●行政への要望書をまとめて提出したいので地域支援課に窓口になって欲しい（１校区）		
●スクールガード事業への支援をして欲しい（補助金追加、現物支給など）（１校区）		
●校区の自主財源を増やす方策を考えて欲しい（資源リサイクル報奨金増額等）（１校区）		
●体育指導員への研修を行って欲しい（１校区）	●交通安全キャンペーン（五千人作戦）よりＰＴＡによる見守り活動の方が効果がある（１校区）	
5. 地域活動をしていて「よかったこと」、「困っていること」はどんなことですか。		
●地域活動の担い手が少ない。役員の後継者不足（８校区）		
●住民の自治意識や地域への参加意識が低い（町内会加入率低下、自主財源不足、参加意識の希薄化等）（５校区）		
●高齢者などの住民情報が不足しており敬老会などの地域事業がやりにくい（１校区）		
●地域での出事が多すぎる（長時間の会議が多い等）（１校区）	●学校との連携が弱い。学校は地域や公民館への理解が低い（１校区）	
●自治会役員などを無償ボランティアでやることに限界がある（無償活動が当たり前との住民意識がある）（１校区）		
6. その他、日ごろの地域活動でお気づきの点をお聞かせください。		
●地域の課題は地域が自ら取り組むべきで、行政に頼るばかりではいけない。自主的な努力が重要（１校区）		
●女性の町内会長が増えるとよい（１校区）	●壮年バレーボール、ソフトボールの年齢制限を撤廃して欲しい（１校区）	
●町内会長の在任期間が長い、当番制を導入した町内会ではより多くの住民が町内会について知ることができた（１校区）		
●「市政だより」は各戸配布でなく、公民館での配布、備え付けでよいのではないかと（１校区）		
●通学路安全点検事業を実施したが改善箇所が放置されている（１校区）	●那珂川の老司水門の開閉についてサイレンで知らせたい（１校区）	